

【中国】

9-10月の市場動向トピックス

- 2021年9月の訪日中国人数は、対2019年同月比99.5%減の4,000人であった。
- 2021年10月の訪日中国人数は、対2019年同月比99.5%減の4,000人であった。
- COVID-19の感染拡大により、日本政府による14日間の隔離、査証の効力停止等の対象となっている。2020年4月21日以降、中国政府外交部より海外旅行自粛の指示が出されていることから、観光客の渡航は実質的に不可能な状況が続いている。国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として2020年11月30日から運用が開始された「レジデンストラック」及び「ビジネストラック」は、2021年1月14日、緊急事態解除宣言が発せられて以降運用停止となり、宣言解除後も当分の間は停止が継続されている。自国民の日本からの入国については、14日間の施設での隔離等が求められている。日本への直行便は、9-10月も引き続き大幅な運休・減便であった。

9-10月の主なプロモーション活動

- 9月3日～7日に北京市内で開催されたウィンタースポーツの博覧会「WORLD WINTER SPORTS（北京）EXPO 2021」に日本ブースを出展し、スキー等のスノースポーツに加え、食や温泉、雪祭り等、冬季観光の魅力をプロモーションし、スノーリゾートとしての日本の魅力を広く発信した。JNTOブースの来場者数は23,714人（オンライン来場者も含む）に上った。



JNTOブース外観



クイズ大会の様子



お面絵付け体験

- 9月10～12日に広東省広州市内で開催された2021広東国際旅游産業博覧会（CITIE）に出展し、COVID-19収束後の訪日需要の喚起を目的に日本の観光魅力のプロモーションを行った。JNTOブース内では浴衣体験やお面の絵付け体験を実施し、来場者に日本の文化に触れていただくとともに、ステージでは阿波踊りパフォーマンスおよび阿波踊り教室を実施し、30,623人がJNTOブースを訪れた。



JNTOブース外観



阿波踊りパフォーマンス



JNTOブースでの対応の様子